

21/Nov.2012

本日をもって、今回の旅を終えることになる。ハノイ経由で関空に向かう。

ビエンチャンの川の舟遊びを経験することにする。

08:30 ホテル近くの食事処で朝食。朝粥。

10:30 タクシーを借り上げ出発。前日と同じドライバーの車。

10:40 川遊びに向かう途中の市民のマーケットを見学。

11:30 舟遊びの船着き場に到着

13:50 船着き場近くの知人宅に立ち寄り交流

15:10 ホテルに帰着。帰り仕度を整える。

18:00 ビエンチャン空港着

19:50 ベトナム航空機に搭乗



↑朝は掃除から始まる。今日も暑い。食事処の店先



↑朝粥。美味しい。ただし、例の血豆腐は敬遠。屋台で朝食をとる人が多い。約100円。

フォンサバンマーケットに立ち寄ってみる。庶民のマーケットである。



↑建物にテナントとして個人商店が出店する方式である。例によって、何でも揃う便利さ。タイ・中国・ベトナム製品であふれる。生鮮食品の豊富さには驚かされる。タイに近いここでは、これらもタイからの物がかかなりあるようだ。卵の価格の高さに驚かされる。10固単位の価格表示。200~250円。淡水魚は近辺で養殖されたテラピア。塩焼きが好まれる。



↑食肉売り場。牛の胎児が売られる。人気があるようだ。商品の搬入、荷降ろしで活気あり。



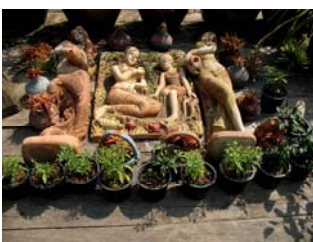
遊船船着き場に到着です。メコン支流、ピエンチャン郊外です。



↑車は橋を渡ります。川岸まで下りて船着き場。なにやら工事中。



↑川堤は緑葉野菜を自給する。建物は簡易な浮体構造。雨季には橋床から1mまで水位が上昇する。雨季にも営業する。建物は他人数のパーティ会場にも使えるしつらえ。食事やコーヒー軽飲食が出来る。時間待ちなどにも使える。みやげ物屋も営業中。

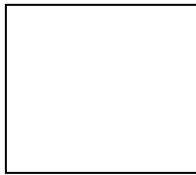


←みやげ物屋の店構え。好ましい雰囲気。建物で料理を注文。調理して舟へ運び込む。その時間待ちにコーヒーでも。





↑ステージ。伝統的民族楽器が用意してある。川風に吹かれパーティ会場として使用可。

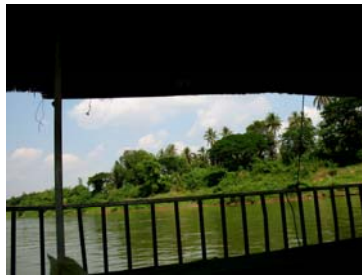


←動画

舟は簡易な舟外機のエンジンを響かせて離岸。壁には民族楽器のディスプレイ。船頭は気のいい若者。就労の場である。



↑持ち込み料理。川エビの塩焼き、定番のセラピアの焼き物。ご飯。野菜炒め。昼からピアラオ。川風が心地よい。



↑舟は少し上流までさかのぼり、流れに任せて下る。約1時間のコース設定である。周辺は淡水魚の養殖施設が並ぶ。おじさんたちが給餌作業。釣りをしてイカダに寝そべるものあり。



↑船着き場に帰って来ました。対岸も浮体構造の屋形が並ぶ。アイスクリームで一休みして出発。



←知人との旧交を温め、再びまちに戻ります。タクシーの窓正面にタートルアンの仏塔が見える。明日から、国中から巡礼者が集まるタートルアン祭りである。その準備に余念がないようであった。本日は何にも催しなし。